

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成30年 月 日

計画の名称	海士町における下水道事業の推進										重点配分対象の該当						
計画の期間	平成31年度～平成32年度(2年間)					交付対象	海士町										
計画の目標	処理場及びマンホールポンプ場における長寿命化対策を計画的に実施することにより、安心な生活環境の創出と安定した水環境の保全を図る。																
計画の成果目標(定量的指標)	・計画的な長寿命化対策を実施し、健全度2以下の要対策箇所整備率を58%(H31)から75%(H32)に増加																
定量的指標の定義及び算定式	$\text{要対策箇所の整備率} = \frac{\text{対策済み箇所数}}{\text{健全度2以下の要対策箇所数}}$										備考						
定量的指標の現況値及び目標値	当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)														
	58%	-	75%														
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	80.百万円	A	80.百万円	B	-	C	.百万円	D	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H31	H32	H33	H34	H35				
A海士-1	下水道	離島	海士町	直接	海士町	施設改築事業(海士処理区)	水処理施設 処理能力1,270m ³ /日、マンホールポンプ 20箇所	海士町						80.0		策定済み	長寿命化計画
合計													80.0				
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H31	H32	H33	H34	H35				
合計													0.0				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H31	H32	H33	H34	H35				
合計													0.0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H31	H32	H33	H34	H35				
合計													0.0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	海士町における下水道事業の推進	交付対象	海士町
計画の期間	平成31年度 ~ 平成32年度 (2年間)		



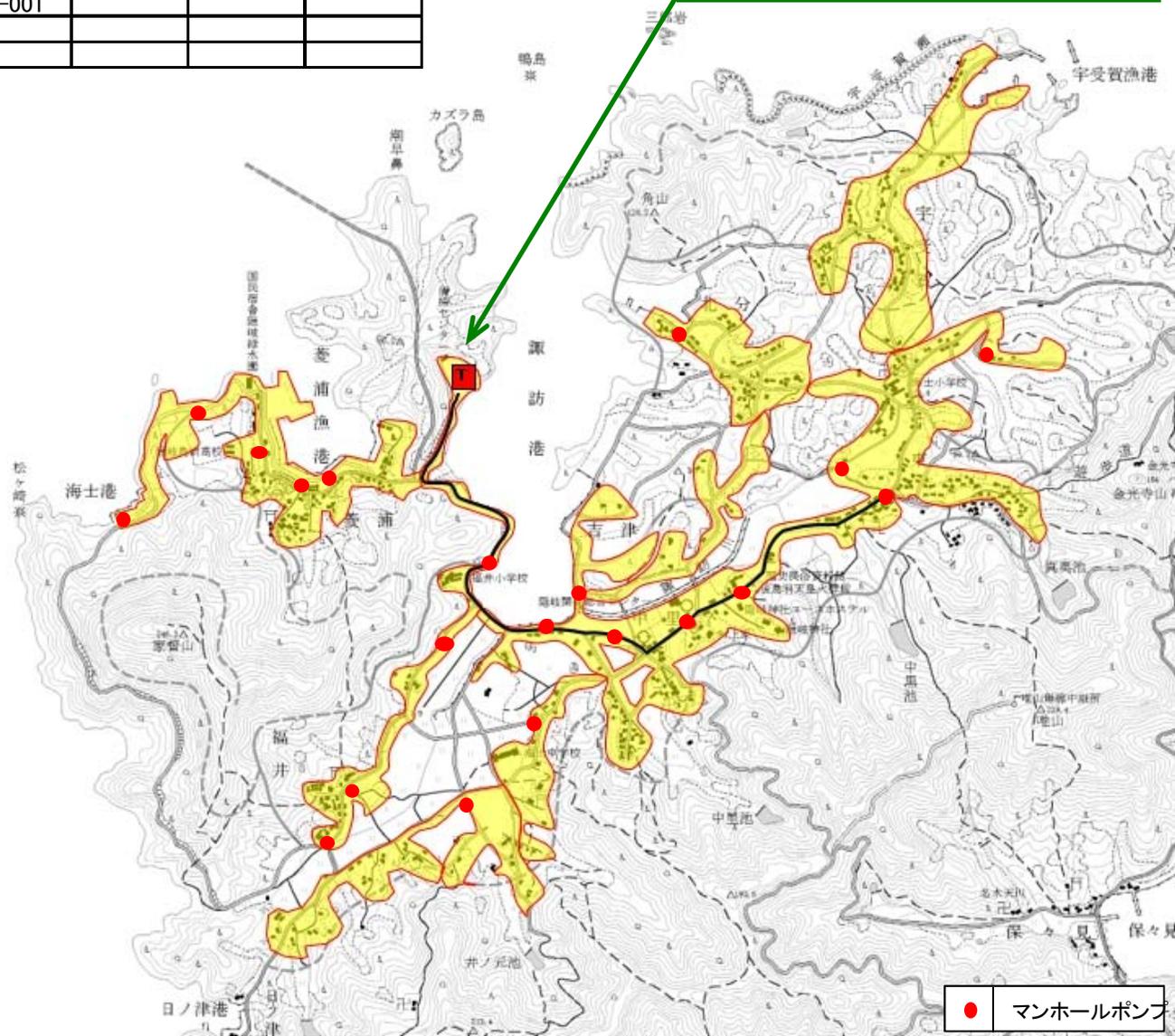
《 計画の目標 》
処理場及びマンホールポンプ場における長寿命化対策を計画的に実施することにより、安心な生活環境の創出と安定した水環境の保全を図る。

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	海士町における下水道事業の推進		
計画の期間	平成31年度 ~ 平成32年度(2年間)	交付対象	海士町

事業者	海士町	処理区計画図名	海士処理区
計画書における関係番号			
A: 基幹(下水道)事業	A07-001		
B: 関連社会資本整備事業			
C: 効果促進事業			

A07-001 施設改築事業(海士処理区)



	全体計画区域
	認可計画区域
	既整備区域
	既設幹線
	計画期間内の整備区域

	新設(赤)
	増設(青)
	改築(緑)

マンホールポンプ

事前評価チェックシート

計画の名称： 海士町における下水道事業の推進

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との適合 1) 総合計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画との適合 2) 事業計画認可と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて成果目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 事業について住民等の理解が得られている。	○